

令和6年第4回江戸川区議会定例会一般質問発言事項

5 牧野けんじ議員

1 2100年に向けた「区民アンケート」について

(1) 「区民アンケート」実施について

- ① 生年月日の記入まで要件とし、記入なきものを無効とする扱いなどを定めた根拠は。
- ② 広報えどがわ8月15日号と10月特別号で、税収の減少の前提となる金額を変更した経緯は。
- ③ 個人情報の記入を必須とするなど、従来の区のアンケートと異なる実施方法となった経緯や考え方は。
- ④ 3択のみの選択肢や個人の特定が可能なことなど、アンケートとしては、区民の自由な意見の表明を保障できないものであったのでは。

(2) 区の方針のあり方について

- ① アンケートの結果は参考に留め、区民サービス削減の内容については、性急に進めるのではなく、区民への説明と意見交換の機会を設けるべき。
- ② 区民施策の削減の理由に、2100年の想定を用いるべきではなく、区の現状や正確な予測ができる期間で方針を立てるべき。

2 新庁舎建設について

(1) 再開発の特定建築者制度の活用による工事費についてのメリット、デメリット、優位性などは。

(2) 新庁舎建設の工事費の抑制についての検討内容、見通しは。

(3) 今後も新庁舎建設の工事費がさらに増大する可能性があることへの想定と財源確保策なども含めた対応策。また、今後の情報公開について。

3 アクションプランの具体化における区立公園のトイレと樹木伐採について

(1) アクションプランの具体化で示された区立公園等の今後の方向性は、区民・利用者の参加で検討を。公園トイレは画一的な集約等はせず慎重に対応を。

(2) 区立公園の樹木の管理、特に伐採について、現在および今後に向けた区の基本的な考え方は。

4 今後の非課税世帯等への給付金支給について

(1) 今後の実施にあたっては、一人も取り残さないという姿勢を重視し、給付率の考え方については整理を。

(2) 対象世帯で未支給になっているケースには、これまでどうアプローチしてきたか。また、今後はどのようにアプローチしていくか。